

報道資料

2022年9月9日
NHK広報局

「BS1スペシャル」へのBPO意見について

本日、「BS1スペシャル」の番組について、重大な放送倫理違反があったとするBPOの意見書がNHKに通知されました。

NHKでは、この問題が発覚して以降、経緯及び問題点について調査を行い、再発防止に取り組んでいます(別紙をご参照ください)。

【NHKのコメント】

取材、編集、試写の各段階に問題があり、デモや広い意味での社会運動に対する関心が薄かったという指摘や、取材相手への配慮や誠意を欠いていたなどという指摘を真摯に受け止めます。

取材や制作のあらゆる段階で真実に迫ろうとする放送の基本的な姿勢を再確認し、現在進めている再発防止策を着実に実行して、視聴者のみなさまの信頼に応えられる番組を取材・制作してまいります。

【参考】

▼番組名:BS1 スペシャル『河瀬直美が見つめた東京五輪』
放送日:2021年12月26日

▼NHKの調査報告書 2022年2月10日公表
https://www.nhk.or.jp/info/otherpress/pdf/2021/20220210_2.pdf

以上

(別紙)

2022年9月9日

「BS1 スペシャル」報道を受けた再発防止策の実施状況について

「コンテンツ品質管理責任者」を中心にした新たなチェック体制

今回の問題を受け、全国の各局に、番組やコンテンツの内容の正確さやリスクについてチェックする「コンテンツ品質管理責任者」を新たに配置し、責任者が、番組の内容をふまえ、提案から放送までのリスクを確認する「取材・制作の確認シート」の活用や「複眼的試写」の実施を検討し、チェック機能を強化する体制を整えました。また、必要に応じて放送日時や放送時間の見直しにも柔軟に対応しています。

新たな体制のもとでの複眼的試写は、ことし4月から7月末までに、本部や大阪放送局を含め全国で900回近く実施しています。

再発防止策の勉強会を全国で開催

本部に、コンテンツの品質管理をサポートする事務局を設置し、各局のコンテンツ品質管理責任者ととも、今回明らかになった課題を共有し再発防止を徹底するための勉強会を全国で実施しました。勉強会は本部、地域局、関連団体で計240回実施しました。

責任者間でリスク事例を共有

全国のコンテンツ品質管理責任者を対象にした新たな会議を4月から設置し、原則として月に一度、取材・制作のリスクに関わる様々な事例の共有や注意喚起にあたっています。

BS1 スペシャル事務局を設置

BS1 スペシャルについては、NHKスペシャルなどと同様、本部内に事務局を設け、番組の提案・採択から放送まで、チェック機能を働かせるようにしました。すべての番組について、放送前に「取材・制作の確認シート」や「匿名チェックシート」の提出を義務付けました。

放送ガイドラインの原点に立ち返る人材育成

各種研修では、今回の事案に限らず過去の事案や教訓について伝えています。今後も、新人層や中堅層、幹部登用に至る節目で実践的な研修を行い、放送ガイドラインの原点に立ち返る人材育成の取り組みを徹底していきます。